

## 第4章 環境施策の実施状況

---

西東京市で取組みを進めているさまざまな環境施策について、環境基本計画の基本方針1から4を基に、その実施状況を示していきます。

- 基本方針「西東京市が目指す環境の姿」 -

<b>基本方針1</b> 良好な生活環境を確保し、健康で心豊かに過ごす	1 環境汚染の防止	<b>基本方針3</b> 生活と産業のあり方を見直し、地域に適した循環型社会を実現する	8 広域的な環境問題への対応
	2 道路環境・交通マネジメント		9 ごみ減量・循環型社会へ
	3 都市景観・都市環境の保全		10 農と消費の一体化
<b>基本方針2</b> 都市のみどりをみんなで支え、自然と共存して生きる	4 みどりの保全・育成	<b>基本方針4</b> みんなの知恵と努力と参加によって良好な環境を確保して、これを将来の世代に引き継ぐ	11 環境情報の交流
	5 水辺環境の保全		12 環境学習の推進
	6 自然とのあれあいの確保		13 環境保全活動への支援
	7 歴史的・文化的環境資源の確保		14 パートナーシップの推進

また、基本方針1から4のそれぞれに具体的な取組みを掲げています。ここではその取組みについて、「環境指標の状況」と「環境施策の実施状況」の視点から、その状況等を示していきます。

「環境指標の状況」は、環境の状態を表すものとして環境基本計画の基本方針や環境施策の達成度ををはかるための指標として活用していきます。さらに、環境施策の進行管理を行うなかで、この白書以外に掲げられている、国の「第3次環境基本計画」や東京都の「環境配慮指針」についても、市の環境施策全体の進捗状況をはかるために活用していくものとします。

「環境施策の実施状況」は、市の業務の中で環境に関する取組みを行っているものを、事業の目的・内容とともに示しています。環境の施策はさまざまな部署が携わっており、それぞれの担当部署が所管している事業の評価・見直しが難しく、今後、環境の側面から施策事業全体の進捗管理ができるような仕組みづくりをしていかなければなりません。

この環境白書自体は、環境の状況や環境保全に関する施策についての報告書であるとともに、西東京市の環境マネジメントとしても機能していかなければならないものです。平成20年度には環境基本計画の見直しを控えていることから、さらに白書機能としてCheck(点検・評価)とAction(改善・見直し)に力点を置いていかなければなりません。

### 1 環境汚染の防止

大気汚染や水質汚濁などといった環境汚染に対しては、発生状況の監視を行い、防止に向けた取り組みを進め、環境の改善を進めます。[西東京市環境基本計画から抜粋]

#### (1) 環境指標の状況(平成15年度～平成17年度)

区 分	平成15年度値	平成16年度値	平成17年度値
(1) 酸性雨の状況 基準値等 = pH 5.6 以下が酸性	最大値 pH6.9 最小値 pH3.5 平均値 pH4.8	最大値 pH6.1 最小値 pH3.5 平均値 pH4.7	最大値 pH7.1 最小値 pH3.7 平均値 pH4.8
(2) 光化学スモッグの発生状況 (注意報・学校情報の発令日数)	注意報 3日 学校情報 17日	注意報 12日 学校情報 26日	注意報 15日 学校情報 34日
(3) 公害苦情件数	81 件	94 件	85 件
(4) 道路の騒音【北原交差点】 要請限度値 = 昼:75dB・夜:70dB (24時間測定値)	昼:72dB 夜:52dB	昼:74dB 夜:73dB	昼:74dB 夜:73dB
(5) 道路の振動【北原交差点】 要請限度値 = 昼:70dB・夜:65dB (24時間測定値)	昼:50dB 夜:30dB	昼:54dB 夜:52dB	昼:54dB 夜:52dB

#### (2) 環境施策の実施状況(平成15年度～平成17年度)

事業名〔担当課〕	各種環境調査の実施〔環境防災部環境保全課〕		
事業目的・内容等	公害・環境汚染から市民生活を守るため、環境の実態を把握し問題の早期発見に努めるとともに、環境モニタリングを定期的に継続して実施していく。		
調査項目	平成15年度	平成16年度	平成17年度
主要交差点大気環境調査	4 箇所	4 箇所	4 箇所
二酸化窒素簡易測定調査	94 箇所	95 箇所	96 箇所
酸性雨測定調査	1 箇所	1 箇所	1 箇所
大気中ダイオキシン類調査	5 箇所	5 箇所	5 箇所
河川水質調査	4 箇所	4 箇所	4 箇所
事業名〔担当課〕	交通量・騒音・振動等環境調査の実施〔環境防災部環境保全課〕		
事業目的・内容等	騒音規制法・振動規制法による調査を定期的に継続して実施していく。		
調査項目	平成15年度	平成16年度	平成17年度
交通量調査	7 箇所	7 箇所	7 箇所
騒音調査	7 箇所	7 箇所	7 箇所
振動調査	7 箇所	7 箇所	7 箇所

2 道路環境・交通マネジメント

市街地における自動車中心の道路交通のあり方を見直し、徒歩や自転車利用などの推進と、そのための安全性、利便性向上などの対策を推進していきます。[西東京市環境基本計画から抜粋]

(1) 環境指標の状況(平成15年度～平成17年度)

区 分		平成15年度値	平成16年度値	平成17年度値	
(1)	自転車駐車場収容可能台数	26か所 21,156台	25か所 20,866台	25か所 20,866台	
(2)	自動車保有台数(軽自動車等も含む)	53,688台	73,195台	73,589台	
(3)	公共交通機関利用者数 (鉄道の1日平均乗降客数)	田無駅	71,609人	72,384人	-
		西武柳沢駅	17,888人	17,385人	-
		東伏見駅	22,285人	23,270人	-
		ひばりヶ丘駅	64,599人	64,940人	-
		保谷駅	52,295人	52,245人	-

(2) 環境施策の実施状況(平成15年度～平成17年度)

事業名〔担当課〕		コミュニティバス(はなバス)の運行〔都市整備部交通計画課〕		
事業目的・内容等		コミュニティバス(はなバス)を運行する。既存路線の利用状況の把握等を行い、路線変更や運行形態について検証を実施した。		
区 分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	
市民懇談会	3回開催	開催なし	開催なし	
事業内容	はなバス4路線の運行補助	はなバス5路線の運行補助	はなバス5路線の運行補助	
利用者数	1,074,752人	1,175,898人	1,234,376人	
事業名〔担当課〕		自転車駐車場の整備〔都市整備部交通計画課〕		
事業目的・内容等		通勤・通学等の自転車利用者のための自転車駐車場を整備する。		
市管理：市が管理しているもので、利用料は無料				
センター管理：自転車駐車場整備センターが管理しているもので、利用料は有料				
自転車駐車場設置状況	平成15年度	平成16年度	平成17年度	
市管理	6か所 2,780台	6か所 2,780台	6か所 2,780台	
センター管理	20か所 18,376台	19か所 18,086台	19か所 18,086台	

### 3 都市景観・都市環境の保全

より質の高い生活環境を確保するため、美しい街並みを形成すめための取組みを進めていきます。[西  
東京市環境基本計画から抜粋]

#### (1) 環境指標の状況(平成15年度～平成17年度)

区 分		平成15年度値	平成16年度値	平成17年度値
(1) 地域環境美化運動	参加者数 回収量	約2,300人 635kg	約2,300人 1,265kg	約2,700人 1,170kg
(2)	放置自転車等撤去台数(原動機付自転車含む)	11,522台	10,830台	10,675台

#### (2) 環境施策の実施状況(平成15年度～平成17年度)

事業名〔担当課〕		環境美化の推進〔環境防災部環境保全課〕					
事業目的・内容等		地域環境美化の推進及び快適な生活環境の確保について、市民意識の普及・高揚を図るため、老人クラブ等の協力で空き缶・空きビン等の回収を春と秋の年2回行う。					
区 分	平成15年度		平成16年度		平成17年度		
	5月31日	9月27日	5月29日	9月25日	5月28日	9月24日	
空き缶	200kg	200kg	70kg	250kg	130kg	190kg	
空きビン	100kg	100kg	80kg	400kg	120kg	150kg	
ペットボトル	15kg	20kg	25kg	100kg	100kg	140kg	
その他	-	-	40kg	300kg	160kg	180kg	
事業名〔担当課〕		放置自転車対策の推進〔都市整備部交通計画課〕					
事業目的・内容等		自転車放置防止対策を推進するため、各駅周辺で放置防止指導、自転車整理、放置自転車の撤去等を行った。					
区 分		平成15年度	平成16年度	平成17年度			
放置自転車保管場所収容台数		3,700台	6,000台	4,300台			
放置自転車保管場所収容箇所数		3か所	4か所	3か所			
撤去台数		11,522台	10,830台	10,675台			
撤去回数		246回	243回	244回			

4 みどりの保全・育成

市内に存在する緑地をできるだけ将来に残すとともに、みどり豊かな市街地の形成に向けた取組みを進めます。[西東京市環境基本計画から抜粋]

(1) 環境指標の状況(平成15年度～平成17年度)

区 分	平成15年度値	平成16年度値	平成17年度値
(1) 緑被率	30.2%(478 ha) (平成11年度値)		
(2) 公園面積	18.33 ha	18.65 ha	23.15 ha
(3) 樹林地面積	189.6ha (平成11年度値)		
(4) 保存樹木本数	1,163 本	1,166 本	945 本
(5) 樹林面積	30,298 m <sup>2</sup>	29,408 m <sup>2</sup>	28,558 m <sup>2</sup>
(6) 保存生垣延長	8,367.3 m	8,086.2 m	8,030 m
(7) 生産緑地面積	150 ha	147 ha	145 ha
(8) 畑地目(農地)面積	182 ha	177 ha	171 ha
(9) 市民農園及び家族農園数	8 か所 1.9 ha	8 か所 1.9 ha	10 か所 2.1 ha

(2) 環境施策の実施状況(平成15年度～平成17年度)

<b>事業名〔担当課〕</b>	市民苗木配布の推進〔都市整備部公園緑地課〕		
<b>事業目的・内容等</b>	樹木の苗木を自宅に植えて、育ててもらい、市内により多くのみどりを増やすため、市民まつりにおいて市民に無料で苗木を配布した。		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度
	平成15年11月9日「市民まつり」においてブルーベリーほか38種類、2,385本の苗木を無料配布した。	平成16年11月14日「市民まつり」においてブルーベリーほか30種類、2,265本の苗木を無料配布した。	平成17年11月13日「市民まつり」においてトキワマンサクほか31種類、2,274本の苗木を無料配布した。
<b>事業名〔担当課〕</b>	西原自然公園植生管理事業〔都市整備部公園緑地課〕		
<b>事業目的・内容等</b>	平成15・16・17年度 市内でも数少ない貴重な樹林を有する「西原自然公園」を、間伐による適正な林分密度管理などを行い、主林木であるクヌギやコナラの成長等を促すため、市民団体である「西原自然公園を育成する会」と協働して植生管理を実施した。		

事業名〔担当課〕	樹木・樹林・生垣の保存〔都市整備部公園緑地課〕
----------	-------------------------

**事業目的・内容等** 市内のみどり保存のため、市民の財産と考える貴重な樹木等の維持管理に対して補助等を行う。

緑化審議会で保存樹木等の指定・解除について審議

保存用件 保存樹木：地上1.5mの高さでの幹の周囲が1.5m以上のもの、木の高さが15m以上のもの

株立ちした樹木で、その高さが3m以上のもの、はん登性樹木で、枝面積が30㎡以上のもの、特異な樹木で、高さが3m以上の保存に値するもの

保存樹林：樹林の集団で、土地面積が100㎡以上のもの

保存生垣：生垣を形成する樹木の集団で、その長さが10m以上のもの

区分	平成15年度			平成16年度			平成17年度		
	指定	解除	延べ	指定	解除	延べ	指定	解除	延べ
樹木	10本	36本	1,163本	11本	8本	1,166本	6本	227本	945本
樹林	0か所	1か所	34か所	0か所	1か所	33か所	0か所	2か所	31か所
生垣	23か所	4か所	187か所	6か所	5か所	188か所	4か所	5か所	187か所

事業名〔担当課〕	生垣造成助成事業〔都市整備部公園緑地課〕
----------	----------------------

**事業目的・内容等** ブロック塀から生垣につくり替える、あるいは新たに生垣をつくる方へ造成費の補助を行う。

補助額：1m当たり1万円

区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度
生垣助成件数(延長)	11件(延長143.3m)	10件(延長144.2m)	7件(延長66.1m)

事業名〔担当課〕	緑地保全地区樹林地の保全〔都市整備部公園緑地課〕
----------	--------------------------

**事業目的・内容等** 山林を保全することで、自然空間、防災避難空間を確保し、みどりあふれる都市環境を確保するため、山林保全指定を行い、固定資産税及び都市計画税の減免を行う。

平成15年度	平成16年度	平成17年度
山林保全地区 8,730㎡(6か所)	山林保全地区 8,730㎡(6か所)	山林保全地区 8,730㎡(6か所)

事業名〔担当課〕	市民農園と家族農園の運営〔市民生活部産業振興課〕
----------	--------------------------

**事業目的・内容等** 市民の農業への理解とうるおいのある生活、都市空間の醸成を図るため、市民農園、家族農園の運営を行う。

市民農園：市が農地を借り上げたものを市民に開放しているもの

家族農園：農地の所有者自身が市民に開放しているもの

区分	平成15年度			平成16年度			平成17年度		
	設置	面積	区画数	設置	面積	区画数	設置	面積	区画数
市民農園	4か所	7,226㎡	261区画	4か所	6,541㎡	237区画	5か所	8,810㎡	342区画
家族農園	4か所	11,672㎡	504区画	4か所	11,672㎡	504区画	5か所	12,372㎡	518区画

## 第4章 環境施策の実施状況

事業名〔担当課〕	優良農地育成事業〔市民生活部産業振興課〕		
事業目的・内容等	農業振興及び農地による自然空間の確保を図るため、保存協定（市内に所在する生鮮農産物等の生産性の高い農地で、かつ自然空間の確保の上からも、野菜、果樹、植木を生産する場として保全する必要があると認められる農地の内、0.2ha以上で、都市と調和する農業経営が4年以上継続される見込みのある農地を対象）を締結し、農業用構築物の設置費や農機具の購入費等の一部を補助する。		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度
	対象者:16人 対象施設:ハウス、トラクター等	対象者:15人 対象施設:ハウス、トラクター等	対象者:15人 対象施設:ハウス、トラクター等
事業名〔担当課〕	公園等の設置〔都市整備部公園緑地課〕		
事業目的・内容等	市民の憩いの場である公園等を新たに設置した。		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度
	谷戸二丁目第1公園(404.00㎡) 中西台公園(235.91㎡) 北町第五公園(221.54㎡)	上保谷新田公園(965.00㎡) 谷戸二丁目第2公園(1,040.03㎡) 緑町二丁目第4公園(227.55㎡) 緑町二丁目第5公園(204.83㎡) 西原三丁目第1公園(202.62㎡) 芝久保一丁目第3公園(124.19㎡) 芝久保一丁目第4公園(398.50㎡)	西東京いこいの森公園(44,182.65㎡) 芝久保一丁目さくらの丘公園(557.64㎡)
事業名〔担当課〕	(仮称)合併記念公園の整備〔都市整備部公園緑地課〕		
事業目的・内容等	東京大学原子核研究所跡地を購入し、合併を記念した公園の整備を実施した。		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度
	土地の買収事業はなし 平成17年度開園予定のため、公園を整備中	平成17年度開園予定のため、公園を整備中	「西東京いこいの森」公園として 4月29日開園
事業名〔担当課〕	生産緑地の指定〔都市整備部都市計画課〕		
事業目的・内容等	生産緑地の指定・保全を行った。		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度
	買取申出16件 23,932㎡ (買取実績なし) 指定317地区 149.68ha	買取申出10件 14,588㎡ (買取実績なし) 指定325地区 146.58ha	買取申出15件 16,533㎡ (買取実績なし) 指定323地区 145.32ha
事業名〔担当課〕	花いっぱい運動の支援〔都市整備部公園緑地課〕		
事業目的・内容等	平成15・16・17年度 西東京市花いっぱい運動（市民が参加して公園等の花壇に年間を通じて花を植え、手入れを行う）に対して、希望する公共用地を認可し、子どもたちの遊びに支障のない場所に簡易な花壇を設置し、花苗、種子等の支援を行った。		



### 5 水辺環境の保全

健全な水循環を確保するとともに、石神井川などの水辺が市民に親しまれるよう、水にふれることのできる水辺をつくりだしていきます。[西東京市環境基本計画から抜粋]

#### (1) 環境指標の状況(平成15年度～平成17年度)

区 分	平成15年度値	平成16年度値	平成17年度値
(1) 河川水質【BOD濃度】 基準値等 = 5.0 mg/以下	石神井川境橋 5.5 mg/ 石神井川溜淵橋 1.3 mg/	5.6 mg/ 0.9 mg/	11.75 mg/ 1.15 mg/
(2) 河川流量	石神井川境橋 0.035 m <sup>3</sup> /s 石神井川溜淵橋 0.188 m <sup>3</sup> /s	0.048 m <sup>3</sup> /s 0.269 m <sup>3</sup> /s	0.078 m <sup>3</sup> /s 0.201 m <sup>3</sup> /s
(3) 透水性舗装面積(延べ)	8,331 m <sup>2</sup>	6,981 m <sup>2</sup>	2,445 m <sup>2</sup>
(4) 上水道の使用量	19,109 千m <sup>3</sup>	19,607 千m <sup>3</sup>	17,679 千m <sup>3</sup>

#### (2) 環境施策の実施状況(平成15年度～平成17年度)

<b>事業名〔担当課〕</b>	雨水浸透ます設置の促進〔都市整備部下水道課〕		
<b>事業目的・内容等</b>	雨水溢水対策、水循環確保の一環として、各戸浸透ます設置の助成事業を行い、雨水への対策意識の向上を図った。		
	対象物件：敷地面積が1,000 m <sup>2</sup> 未満の既存の住宅、店舗兼住宅を所有している方		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度
浸透ます設置助成件数等 ・39件(127個設置) ・助成費 4,285,002円	浸透ます設置助成件数等 ・42件(130個設置) ・助成費 4,280,010円	浸透ます設置助成件数等 ・35件(127個設置) ・助成費 4,109,109円	
<b>事業名〔担当課〕</b>	透水性舗装の実施〔都市整備部道路管理課〕		
<b>事業目的・内容等</b>	透水性舗装を実施した。		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度
	8,331 m <sup>2</sup>	6,981 m <sup>2</sup>	2,445 m <sup>2</sup>
<b>事業名〔担当課〕</b>	水洗化の促進〔都市整備部下水道課〕		
<b>事業目的・内容等</b>	河川の水質汚濁の改善や公衆衛生の向上を図るため、地道な広報活動や未水洗理由の把握に努めることによって、くみ取り便所から水洗便所への改造、浄化槽の公共下水道への接続を促進する。		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度
水洗便所改造資金助成 補助金交付件数	0件	0件	0件

事業名〔担当課〕	水質の安全確保〔水道部工務課〕		
事業目的・内容等	水道水の安全確保のため、東京都及び西東京市で水質管理を行った。		
	平成 15・16・17 年度		
	(1)毎日検査 (残留塩素・色・濁り) (2)項目検査 水道法に基づく水質基準項目検査 - 46 項目 (基準値、毎月・年定期検査) 快適水質項目検査-5 項目(目標値、毎月・年定期検査) 監視項目-33 項目(指針値、毎月・年定期検査) 自己水源井の水質検査-12 項目		
事業名〔担当課〕	水質調査の実施〔環境防災部環境保全課〕		
事業目的・内容等	環境汚染から市民生活を守るため、環境の実態を把握し問題の早期発見に努めるとともに、環境モニタリングを定期的に継続して実施していく。		
調 査 項 目	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
河川水質調査	4 か所	4 か所	4 か所

## 6 自然とのふれあいの確保

緑地などは野生生物の生活の場でもあることを認識し、市民が自然とふれあいながら、自然の大切さを学べるような取組みを進めます。[西東京市環境基本計画から抜粋]

### (1) 環境指標の状況(平成15年度～平成17年度)

区 分	平成15年度値	平成16年度値	平成17年度値
(1) 自然観察会参加人数	74人	75人	57人

### (2) 環境施策の実施状況(平成15年度～平成17年度)

事業名〔担当課〕	自然観察会の実施〔都市整備部公園緑地課ほか〕		
事業目的・内容等	市民対象の自然観察会等を実施した。		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度
	<p>公園緑地課実施 平成15年11月27日 (横浜自然観察の森) 貴重なみどりや動植物が減少しつつある中、みどりの重要性を再認識し雑木林や緑地に生息する、小動物等を観察し、身近な自然を守ることの大切さについて考えた。 市民31人参加 公民館実施 平成15年8月28日 (東大農場・演習林) 夏休みを利用した親子自然観察会を東大農場・演習林で実施した。 市民43人参加</p>	<p>公園緑地課実+施 平成16年11月19日 (小山田緑地) 貴重なみどりが減少しつつある中、みどりや生き物が保全されていて、多摩丘陵の原風景が残っている豊かな山野草に恵まれた雑木林や谷戸の田んぼ等を散策し、自然を守ることの大切さを探る。 市民32人参加 公民館実施 平成16年8月27日 (東大農場・演習林) 夏休みを利用した親子自然観察会を東大農場・演習林で実施した。 市民43人参加</p>	<p>公園緑地課実施 平成17年10月27日 (都立小宮公園) 初秋の雑木林や里山を散策する自然観察会を通して、緑の大切さや雑木林のすばらしさを認識してもらい、自然保護や緑の保全について考える。 市民34人参加 公民館実施 平成17年8月26日 (東大農場・演習林) 夏休みを利用した親子自然観察会を東大農場・演習林で実施した。 市民23人参加</p>

7 歴史的・文化的環境資源の確保

先人たちによって残され、現在に伝わる歴史的・文化的環境資源については、保存を進めるとともに、市民の文化財に関する高い意識を醸成していきます。[西東京市環境基本計画から抜粋]

(1) 環境施策の実施状況(平成15年度～平成17年度)

事業名〔担当課〕		郷土資料室の活用〔生涯学習部社会教育課〕		
事業目的・内容等		市内にある郷土資料室を広く一般に公開した。		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	
	郷土資料室の開室 文化財ウィーク郷土資料室出前企画展 東伏見小学校郷土資料室一般公開	郷土資料室の開室 文化財ウィーク郷土資料室企画展	郷土資料室の開室 文化財ウィーク ・郷土資料室企画展 ・市内文化財めぐり ・講演会	
事業名〔担当課〕		下野谷遺跡の埋蔵文化財調査〔生涯学習部社会教育課〕		
事業目的・内容等		歴史的文化遺産である遺跡の調査を実施した。		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	
	対象面積：3㎡ 対応：試掘調査 調査日程：平成16年1月13日 その他2回実施	対象面積：73㎡ 対応：立会調査 調査日程：平成16年7月8日 その他5回実施	対象面積：12.5㎡ 対応：本調査 調査日程：平成17年5月18日～19日 その他4回実施	

8 広域的な環境問題への対応〔基本方針3〕

地球環境問題や広域的な環境問題に対しては、地域として果たすべき役割を認識して上で、各主体の参加の下、優先的な取組みを進めていきます。〔西東京市環境基本計画から抜粋〕

(1) 環境指標の状況(平成15年度～平成17年度)

区 分	平成15年度値	平成16年度値	平成17年度値
(1) 市内からのCO <sub>2</sub> 排出量〔t-CO <sub>2</sub> 〕電気・ガス使用量等から換算	338,477 t-CO <sub>2</sub>	347,751 t-CO <sub>2</sub>	-
(2) エネルギー使用量 電力使用量(総消費量) 都市ガス使用量	649 GWh 47,550 千m <sup>3</sup>	686 GWh 45,145 千m <sup>3</sup>	- 47,241 千m <sup>3</sup>
(3) 市内に登録している天然ガス自動車台数 (東京ガス㈱調べ)	39 台	41 台	45 台

(2) 環境施策の実施状況(平成15年度～平成17年度)

事業名〔担当課〕	クリーンエネルギー自動車の導入〔各部署〕		
事業目的・内容等	温室効果ガスの削減による地球温暖化の防止のため、庁用車について天然ガス自動車等のクリーンエネルギー自動車の計画的な導入を促進した。		
導入台数	平成15年度	平成16年度	平成17年度
天然ガス車台数	22 台	25 台	25 台
全庁用車における天然ガス車の導入割合	12.9%	15.8%	16.9%
事業名〔担当課〕	地球温暖化対策実行計画の推進〔環境防災部環境保全課〕		
事業目的・内容等	市役所が事業所として具体的な地球温暖化対策の施策を検討し、実行するための地球温暖化対策実行計画を策定した。温室効果ガス削減のための取組みを推進している。		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度
計画策定のための基礎調査(温室効果ガス排出量等)を実施	「西東京市地球温暖化対策実行計画」を策定。温室効果ガスの削減目標を定める。	「西東京市地球温暖化対策実行計画」に基づき温室効果ガスの削減に努めている。	
二酸化炭素排出量:10,000 t-CO <sub>2</sub>	二酸化炭素排出量:10,699 t-CO <sub>2</sub>	二酸化炭素排出量:8,481 t-CO <sub>2</sub>	

9 ごみ減量・循環型社会へ

将来的にはごみの発生そのものの少ない地域社会を目指し、循環型社会を構築するために、再使用、再資源化を行うなどリサイクルを推進し、ごみの排出量の削減を進めます。これにより、最終処分場に搬入される量の大幅な減量を目指した取組みを進めていきます。[西東京市環境基本計画から抜粋]

(1) 環境指標の状況(平成15年度～平成17年度)

区 分	平成15年度値	平成16年度値	平成17年度値	
(1) 一般廃棄物発生量	55,366 t	54,867 t	55,790 t	
(2) 事業系可燃ごみ量	7,320 t	7,748 t	8,193 t	
(3) 家庭系ごみ量	総ごみ量	48,046 t	47,119 t	47,597 t
	可燃ごみ量	31,226 t	30,239 t	30,773 t
	不燃ごみ量	7,333 t	7,256 t	6,880 t
	資源物量	9,487 t	9,624 t	9,944 t
(4) 家庭系ごみ人口当たり量	709 g / 人日	688 g / 人日	682 g / 人日	
(5) リサイクル率(資源物量 / 家庭系総ごみ量)	19.7%	20.4%	20.9%	
(6) 集団回収量	2,805 t	2,916 t	4,039 t	
(7) 最終処分場搬入量	7,600 t	6,395 t	5,684 t	

(2) 環境施策の実施状況(平成15年度～平成17年度)

事業名〔担当課〕	啓発活動の充実〔環境防災部ごみ減量推進課〕		
事業目的・内容等	市民にごみの排出ルールや分別の徹底を図った。		
	平成15・16・17年度		
	パンフレットの印刷と配布：「ごみ・資源物収集日程表」「粗大ごみの出し方」		
事業名〔担当課〕	廃棄物減量等推進員の活動〔環境防災部ごみ減量推進課〕		
	平成15・16・17年度		
	「リサイクル型都市西東京市」を目指すため、市民の協力のもとに廃棄物の減量啓発、再資源化の推進を実施した。		
事業名〔担当課〕	生ごみ減量化処理機購入助成事業〔環境防災部ごみ減量推進課〕		
事業目的・内容等	生ごみ堆肥化を推進して、ごみの減量を図った。		
	助成要件：購入価格の2分の1で、上限助成金額が4万円までのもの		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度
家庭用生ごみ処理機購入助成 助成基数：78基	家庭用生ごみ処理機購入助成 助成基数：122基	家庭用生ごみ処理機購入助成 助成基数：147基	

事業名〔担当課〕 「りさいくる市」の開催〔環境防災部ごみ減量推進課〕		
事業目的・内容等 田無・保谷両庁舎において「りさいくる市」を開催し、不用品等の再使用・再利用を図った。		
平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
年間 9 回開催 延べ 610 出店、22,500 人来場	年間 9 回開催 延べ 650 出店、9,000 人来場	年間 5 回開催 延べ 350 出店、5,596 人来場
事業名〔担当課〕 集団回収活動の支援〔環境防災部ごみ減量推進課〕		
事業目的・内容等 資源の再生を図り、集団回収運動の気運を培い、市民の資源有効利用についての認識を深めるために、再生資源の回収事業を行う集団回収団体に対し奨励金を交付し、活動の活性化を図る。		
平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度
実施団体数 369 団体 回収物 紙 類：2,603 t 布 類：202 t アルミ：680kg	実施団体数 364 団体 回収物 紙 類：2,688 t 布 類：227 t アルミ：685kg	実施団体数 364 団体 回収物 紙 類：2,801 t 布 類：237 t アルミ：815kg

10 農と消費の一体化

農産物の生産と輸送に伴う環境負荷を減らすために、生ごみや剪定枝は堆肥化により地域の農地で活用し、地元の農産物を市内で消費するといった、農と消費を一体化する取組みを進めていきます。[西東京市環境基本計画から抜粋]

(1) 環境施策の実施状況(平成15年度～平成17年度)

事業名・担当課	有機農業推進事業〔市民生活部産業振興課〕		
事業目的・内容等	有機物を中心とした土づくりにより土壌の生態系を保持し、より安全な農産物の生産を重視した有機農業を推進した。		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度
	有機堆肥の配布 補助対象者：109人 補助金額：2,800,000円	有機堆肥の配布 補助対象者：110人 補助金額：2,800,000円	有機堆肥の配布 補助対象者：107人 補助金額：2,800,000円



## 11 環境情報の交流

西東京市の環境の状況を、広く市民に役に立つ情報となるよう、わかりやすく提供していきます。また、環境情報に関する各主体間のコミュニケーションを進めていきます。[西東京市環境基本計画から抜粋]

### (1) 環境施策の実施状況(平成15年度～平成17年度)

事業名〔担当課〕	ホームページの運用〔企画部広報広聴課・各局〕		
事業目的・内容等	市民サービス向上のため、「西東京市ホームページ」をより充実させて運用した。		
内 容	平成15年度	平成16年度	平成17年度
アクセス件数	374,195件	441,045件	438,787件
事業名〔担当課〕	広報西東京の運用〔企画部広報広聴課〕		
事業目的・内容等	市についての市民の主たる情報源である「広報西東京」の情報をより充実させ、わかりやすく、親しまれる広報紙を発行してきた。		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度
広報「西東京」の発行 発行部数：85,000部/回 発行回数：24回 〔毎月1日と15日の2回〕	広報「西東京」の発行 発行部数：86,700部/回 発行回数：24回 〔毎月1日と15日の2回〕	広報「西東京」の発行 発行部数：89,000部/回 発行回数：24回 〔毎月1日と15日の2回〕	
事業名〔担当課〕	情報公開コーナーの運用〔総務部文書課〕		
事業目的・内容等	積極的な情報公開を行うことにより市政への市民参加を推進するため、田無庁舎・保谷庁舎の情報公開コーナーを市民が利用しやすいように運用してきた。		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度
公開請求55件	公開請求112件	公開請求147件	
事業名〔担当課〕	市民参加条例に基づく市民参加の推進〔企画部企画課・各局〕		
事業目的・内容等	平成15・16・17年度 「西東京市市民参加条例」に基づき、審議会等への市民公募枠の確保や市民意見提出制度（パブリックコメント）、市民説明会、市民ワークショップなどを実施した。		

12 環境学習の推進

子どもから大人まで市民みんなが環境学習を行い、環境意識を高く持つことが重要です。そのため、環境学習を全市的に推進していきます。[西東京市環境基本計画から抜粋]

(1) 環境指標の状況(平成15年度～平成17年度)

区 分	平成15年度値	平成16年度値	平成17年度値
(1) 環境学習リーダー(東京都)登録者数	3人	3人	3人
(2) 環境カウンセラー(環境省)登録者数	0人	6人	6人
(3) こどもエコクラブ数	1団体	0団体	0団体

(2) 環境施策の実施状況(平成15年度～平成17年度)

事業名〔担当課〕	環境読本の作成・活用〔環境防災部環境保全課〕		
事業目的・内容等	西東京市の環境について、自発的な環境保全活動が促進されるよう、また、子どもの頃から環境意識を高めるため、西東京市の環境についての冊子にまとめるとともに、小学4年生を対象に配布を行った。		
平成15・16・17年度			
「西東京市の環境」を2,500冊印刷し、小学生等に配布した。			
事業名〔担当課〕	環境講演会等の開催〔環境防災部環境保全課・公民館〕		
事業目的・内容等	市民を対象とした環境講演会や講座を開催した。		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度
	環境保全課 「かんきょう実験工作教室」 「かんきょうたんけん隊」 田無公民館 「家庭生活と環境」 住吉公民館 「農業を知る講座」 「川と自然と生活」 「子どものいろいろ体験教室」	環境保全課 「食から考える環境」 「身近な生き物から考える環境」 「地球から考える環境」 田無公民館 「家庭生活と環境 part Ⅱ」 住吉公民館 「農業を知る講座」 「川と自然と生活」 「子どものいろいろ体験教室」	環境保全課 「地球温暖化と身近な水・緑・土」 「地球温暖化と家庭・安全・健康」 田無公民館 「環境講座 エネルギー」 住吉公民館 「農業を知る講座」 「環境講座地球温暖化について」

13 環境保全活動への支援・14 パートナーシップの推進

市民による環境保全活動を、様々な側面から支援し、推進していきます。

環境保全に当たって、市、事業者、市民といった各主体のパートナーシップの構築を進めていきます。また、西東京市だけでなく、広域的な視点から近隣自治体や東京都などとの連携による取組みを進めていきます。[西東京市環境基本計画から抜粋]

(1) 環境指標の状況(平成15年度～平成17年度)

区 分	平成15年度値	平成16年度値	平成17年度値
(1) 環境保全分野の特定非営利活動法人(NPO)数	4 団体	8 団体	11 団体

(2) 環境施策の実施状況(平成15年度～平成17年度)

事業名〔担当課〕	NPO等との協働の推進〔市民生活部生活文化課・各部署〕		
事業目的・内容等	NPOとの協働を推進することにより、多様な市民ニーズに対応するとともに、様々な地域課題の解決を図るための事業を実施した。		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度
	NPO講演会の実施 協働基本方針・マニュアルの策定	NPO企画提案事業実施 ・みどりの散策路調査委託 ・子育て支援地域活動 ・NPO見本市 NPO職員研修の開催	NPO企画提案事業実施 ・パトロールで健康 ・移動サービス協力者研修 ・高齢者パソコン体験 ・食育らんど NPO職員研修の開催
事業名〔担当課〕	大学との相互協定に基づく事業の推進〔企画部企画課・各部署〕		
事業目的・内容等	武蔵野大学と協働し、まちづくりを進めるために、相互協力に関する協定に基づき、人事交流や人材育成、生涯学習の推進に取り組んでいく。		
内 容	平成15年度	平成16年度	平成17年度
附属機関等委員委嘱	18名〔15 審議会等〕	18名〔17 審議会等〕	16名〔16 審議会等〕
相互協力事業	実施4件	実施12件	実施14件